

LPガスCP速報(2022年3月積)

1. 3月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **895** ^{ドル} (前月比+120 ^{ドル})

ブタン **920** ^{ドル} (前月比+145 ^{ドル})

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況がウクライナ戦争の影響で一時100 ^{ドル}を突破、2014年9月以来の高値を更新するなか、LPガス需給は、極東の寒波により暖房需要は堅調、旧正月明けからPDH、石化需要がみられ、ナフサ高、米ブタン高で中東LPガス市況を下支え、ブタン高が顕著になった。極東CFRは、上中旬、プロパン790~810 ^{ドル}、ブタン790~820 ^{ドル}で推移したが、第4週末にはロシアがウクライナに侵攻、原油・天然ガス市況が急騰し、LPガスも連れ高を余儀なくされている。

米国では、プロパン需要が記録的な寒波の影響など200万b/d前後の過去最高水準が続いている。全米プロパン在庫は11週連続の減少、低水準の前年同期比の87.3%に止まり、メキシコ湾の在庫は5年平均レンジを大きく下回っている(グラフ②はメキシコ湾)。輸出は、上旬にキャンセル、買戻しで大幅に減少、その後は堅調に推移した。米モンベルビュープロパンスポット価格は、上旬に一時695 ^{ドル}まで釣り上げられたが、中旬には650~680台で推移、下旬はウクライナ危機の影響で750 ^{ドル}を突破した模様だ。月間平均は前月比60 ^{ドル}上昇の665 ^{ドル}どころ(グラフ①)。3月は地政学リスクの影響が顕著になる。

フレート市況は、船舶需給緩和で続落となった。インド勢の引き合いは一服、トレーダーの追加購入で引き締まる場面もあったが、米国、米国FOB価格と極東着価格の売差が縮小、採算悪化で買戻しが多数、キャンセルもあり、フレートは軟調に推移した。

ナフサは原油価格に連動、月初の810 ^{ドル}どころから下旬には2014年以来の900 ^{ドル}突破となった。月間平均は853 ^{ドル}どころで、前月比80 ^{ドル}の続騰、ブタン高の背景となった。

バンカーオイルは原油市況に追随して大幅続騰、シンガポールIFO380は月間平均で前月比43 ^{ドル}高の532 ^{ドル}どころ、LSMGO(低硫黄マリンガスオイル)は同89 ^{ドル}上げの830 ^{ドル}どころ、両油種の格差は298 ^{ドル}に拡大した。

3月CPは前年同月比プロパン270 ^{ドル}、ブタン325 ^{ドル}それぞれ上昇。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算(下記参照)では、前月に比べプロパン8、ブタン10ポイントそれぞれ上昇、前年同月比ではプロパン7ポイント低く、ブタン2ポイント高い。

| | 第1週 | 第2週 | 第3週 | 第4週 | 平均 |
|----------|-----|-----|-----|-----|----|
| フレート | 50 | 50 | 45 | | |
| CP先物指標:P | 785 | 780 | 790 | | |
| CP先物指標:B | 795 | 780 | 800 | | |

② 原油市況等

2月の原油市況をみると、WTIは88 ^{ドル}台でスタート、米国寒波の影響で暖房需要が急増、オミクロン株感染拡大からの需要回復も期待される一方、OPECプラスの増産が目標を下回り(協調減産遵守率129%)需給逼迫感が強まった。ウクライナ情勢が緊迫化するなか、インフレ懸念の早期金利引き上げ観測で株価は急落、イラン核合意再建協議が大詰めを迎えイラン産原油の市場復帰見込みで、第3週のWTIは9週ぶりに下げたが、24日ロシアがウクライナに侵攻、一時WTIは100.54 ^{ドル}、ブレント原油は105.77 ^{ドル}に達した。対ロシア制裁対象に原油・天然ガスが盛り込まれず翌25日は反落したが、ロシアを国際決済網SWIFTから排除する制裁強化を受け、週明け28日のアジア市場で原油市況は3 ^{ドル}以上の急騰となっている。ウクライナ戦争は首都キエフ攻防へと激化した。世界・人類は何処へ向かうのか

○2月積みアラビアン・ライト(2月1~25日までの想定)は94.10 ^{ドル}(前月比+7.26 ^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン771.52 ^{ドル/トン} ブタン760.94 ^{ドル/トン}

AL比 プロパン116.00% ブタン120.90%

*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

2. 2022年3月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

| 適用為替 | TTS | P円建CFR | B円建CFR | P前月比 | B前月比 |
|--------|--------|---------|---------|--------|---------|
| ①20日締め | 115.96 | 101,600 | 105,100 | +7,400 | +11,500 |
| ②末日締め | 116.22 | 101,500 | 105,300 | +8,100 | +12,100 |

*TTS平均について、①が1月21日～2月20日、②2月1～28日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①、②ともにCP70%、MB30%で算定。①、②ともに中東・北米フレートを含むCFRコストを表示。

なお、上記MBは2月24日までの価格を基にEINで試算（665ドル/トン：ウクライナ戦争による影響の市況が入っていません）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定やフォーミュラ見直しもなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。

①米国プロパンスポット価格推移

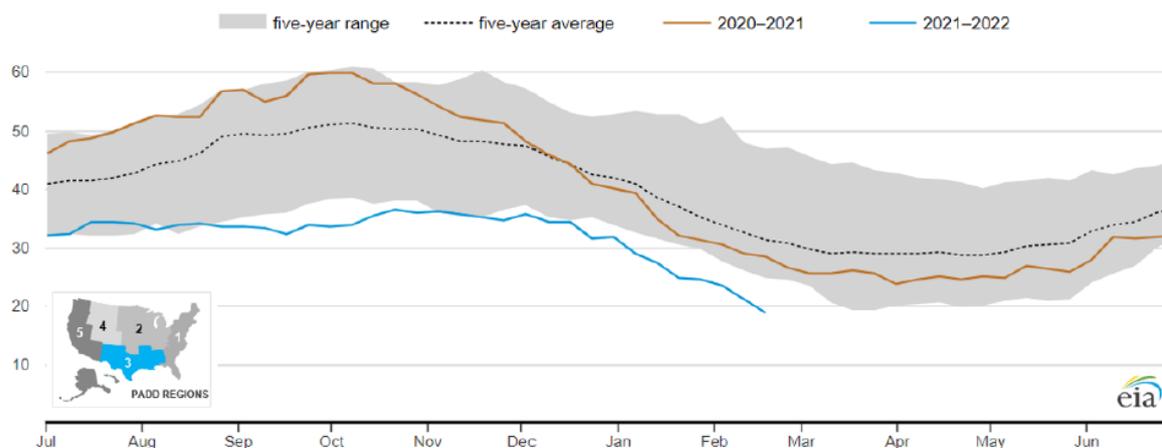
Propane spot prices (Conway, KS and Mont Belvieu, TX)
dollars per gallon (\$/gal)



Source: Graph created by the U.S. Energy Information Administration, based on data from Bloomberg, data through February 22, 2022

②米メキシコ湾岸プロパン在庫推移

Gulf Coast (PADD 3) propane/propylene inventories
million barrels



Source: U.S. Energy Information Administration, *Weekly Petroleum Status Report*, February 24, 2022

Note: PADD 3 is composed of Alabama, Arkansas, Louisiana, Mississippi, New Mexico, and Texas data through February 18, 2022

*includes propylene stocks at refineries